

●特集／KOBEで感じるブライダル

神戸っ子
2005 9

n' KOBECCO

kobecco.co.jp

2005年9月1日発行 第44巻 第6号
通巻528号 昭和40年1月20日 第三種郵便物許可



2005年9月10日(土)～2006年1月9日(月・祝)

前期展示:9月10日(土)～10月30日(日) 後期展示:11月3日(木・祝)～1月9日(月・祝)

特別展 SPECIAL EXHIBITION

コレクション大公開! (Version2)



小磯良平「マヌキャン」1972 本館蔵

一昨年の「コレクション大公開!」展が好評を博しましたので、再び、当館のコレクションを一挙大公開します。小磯良平の作品や金山平三、田村孝之介、鶴居玲など、神戸で活躍した画家たちの作品など、前回の展示では紹介できなかったものや、近年収集した新収蔵作品を初公開いたします。

■開館時間 午前10時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

■休館日 毎週月曜日(月曜日が祝休日の時はその翌日。
ただし、10月3日は開館)
11月1日、2日、12月28日～1月4日

■入館料 ※特別展などの入館料はそのつど定めます。

区分	個人	団体(30名以上)
一般	600円	450円
高校・大学生	400円	300円
小学・中学生	250円	150円

神戸市ののびのびパスポートで無料、
すこやかカードで半額
※詳しくはお問い合わせください。

■入館無料日 10月3日(KOBE観光の日)
11月19日、20日(関西文化の日)

■交 通 JR住吉駅・阪神魚崎駅のりかえ新交通六甲ライナー「アイランド北口」駅(住吉駅から7分、魚崎駅から5分)下車、西へ徒歩すぐ・六甲アイランド公園内
※公園の地下には市営駐車場(有料)があります。



神戸市立小磯記念美術館

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中5丁目7

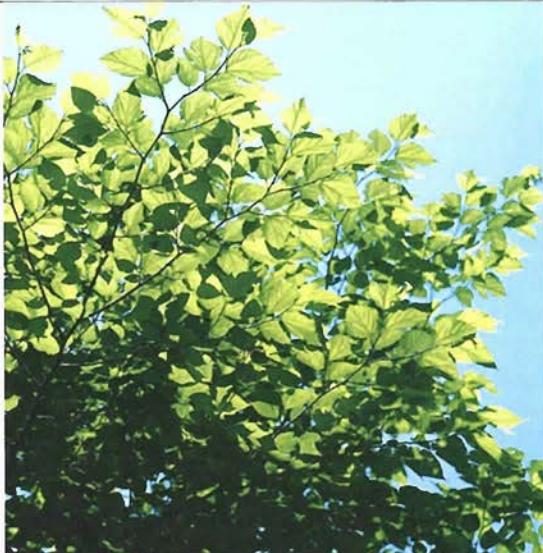
☎ 078-857-5880

http://www.city.kobe.jp/cityoffice/57/koiso_museum/

「さんちか」は
神戸・三宮のショッピングエントランス

季節ごとに楽しめる おしゃれ・グルメ

電車やバスを降りたら、そこは「さんちか」。
ショッピングやお食事を楽しんだら、
そのまま帰れるターミナルにあるさんちかは、
素敵な暮らしの情報ステーションもあります。
ショッピング、グルメ、わくわくするイベントの数々を、
おしゃれ感覚でお楽しみください。



さんちかメンバーズカードは、より便利に、よりお得にパワーアップ!
Orico Card/Master Card Orico Card/VISA Orico Card/JCB

【さんちかメンバーズカード】初年度年会費 無料

2年目以降年会費1,312円(税込)

ポイント1 スタート・プレゼント!! 入会後5ヶ月間だけのビッグチャンス!! 点数に応じて、最高5,000円分の商品券がもらえます。

ポイント2 全てのショッピングご利用にポイントがつく!!

ポイント3 年間のご利用金額に応じてボーナスポイントもたまる!!

ポイント4 JALマイレージ、ドコモプレミアクラブへのポイント移行も可能!!

ポイント5 たまつたポイントはすてきな商品との交換も可能!!

ポイント6 うれしい5%割引!! 5,000円以上ご利用いただくと、さんちか各店でご利用金額の5%を割りします。[ただし一部の商品は除きます。]

ポイント7 さんちかでショッピングご利用の場合、分割払い3回まで手数料がかかりません!!

※2005年11月、オリコカードのポイントは新ポイントサービス「クラスマイル」へ。
詳しいご説明はご利用代金明細書でご案内させていただきます。

さんちか名店会
神戸市中央区三宮町1-10-1 TEL.078(391)3965
営業時間／AM10:00～PM8:00
(飲食店はPM9:00オーダーストップ)
santica
The New Heart of Kobe 神戸・三宮みらい
<http://www.santica.com>

ホラ吹くゾ！(2004)

田中和人



作家プロフィール



田中和人(たなか かずひと)

中国・漢口生まれ。濱田庄司の弟子にあたる奥田康博に師事。1981年、三田市内に木器窯を開く。地場の土を使用した陶土をひねり、登り窯で焼くという伝統的な手法を守りつつ、オリジナリティあふれる作品を制作。サロン・ド・ポートピア陶芸教室をはじめとして各地で教室を開講し陶芸の魅力を伝えるのみならず、舞台やイベントの企画など地域の芸術文化振興にも尽力している。

木器窯
三田市 木器 709-37
☎078-569-1225

蛸の頭のような丸みを持つ陶の笛。この不思議な形は、逆転の発想から生まれた。ろくろでは普通、口を上に成形するが、この作品は、まず器を作る要領で形

音に聞く変化の妙

手にすればすっと馴染む、たおやかな曲線とやさしい肌触りに田中さんの温もりを感じ、「手仕事は一面に心の仕事」という柳宗悦の言葉を思い出す。人々を薰陶する美しさと吹聴しても、ホラ吹きだとは言われまい。



を作り、徐々に先をすぼめてやがて上部を閉じてしまう。そのまま一昼夜置くと、ろくろで下にしていた方に吹き口と穴を開ければ形は完成。この手法は、吹きガラスの技法からヒントを得たそうだ。

そしてこの奥深い模様と色合いは、偶然の産物か神の仕業か。三田・木器の土のおだやかな風合い。そこに自然と降りかかった登り窯の薪の灰が高温で溶け、自然釉となって見事な景色を生み出す。三日三晩燃えたぎる炎と、窯の中の無為自然から生まれた艶っぽさは、人智を超えた境地から創造される。

— SECOND COVER —

これは神戸を愛する人々の手帖です。あなたのくらしに楽しい夢をおくる、

神戸を訪れる人に楽しい道しるべ、これは神戸っ子の心の手帖です。



CONTENTS

6 特集 I KOBEで感じるブライダル

- 7 ポエム・ド・コウベ
浮遊空間—「ソラ」 福井久子
- 8 対談 お茶でものみますか⑤
「結婚はゴールではなく新たな生活のスタート」
山口光（ディアコニア大阪教会主管牧師）
- 10 VS 玉岡かおる（作家）
- 13 神戸ウエディングフォーラム
- 14 神戸ウエディング会議
- 16 ブランナーが語る
KOBEスタイルウエディング



36 特集 II 芸術・文化・ひょうご

- 37 「愛のない作品は作品でない」
彫刻家 新谷琇紀氏 インタビュー
- 42 画家・鶴居 逝って20年 伊藤誠
- 44 平田郁 パリの風を描く
- 46 感透音神戸主催「音色の不思議コンサート」
- 47 三田ほんまち交流館「縁」オープン



- 2 ART VIEW④／ホラ吹くゾ!田中和人
- 50 上田千華 presents ちかナビ ONE DAY TRIP④

9月号目次◆2005

表紙／石阪春生

- 54 <連載>田中まこの神戸が撮っても好き⑥／ミュージックビデオクリップ
- 58 神戸のお嬢さん／千頭加奈子さん・安田亜里沙さん
- 60 <連載>木村多恵子の暮らしのエスプリ<9月>
- 62 KOBECCO2005／バスカル・ヴィレ 村岡沙雪
- 64 ある集い／兵庫県日韓親善協会・神戸山手女子高等学校32回生緑会
- 66 火の国熊本熱か女ばい 風さやか熊本ディナーショー
- 68 和の道を求めて④ 伝統芸能の継承者たち
福田龍之介さん
- 70 マハニム母子寮に愛を/福井宗芳師 文・今村隆
- 72 <連載>トゥインクル&ビッグ⑬ 藤原健二
- 74 <連載>神戸ゆかりの源平浮世絵
「安芸の宮島・巣島神社に美しい弁財天現る」 中右瑛
- 76 <連載>海船港 「八丈島・津島クルーズ②」 上川庄二郎
- 88 有馬歳時記 「有馬の湯で夏の疲れを癒しましょう」
- 80 でん太の教えてドクター
- 82 私の意見／西川勝実
- 83 びといん「mamma mia cafe」
- 84 イベントスケジュール
- 86 ポケルジャーナル
- 88 <連載>プロフェッサーPの研究室 岡田淳
- 90 <連載>震災エッセイ⑥ 文・大谷成章 剪画・とみさわかよの
- 92 <連載>五線紙の街⑨ 文・宮田達夫 絵・中西省伍
- 94 <連載>コーヒーカップの耳⑩ 文・出石アカル 絵・菅原洸人 題字・六車明峰
- 96 <連載>鏡の中のサムライ⑫ 文・中野順哉 絵・平田郁
- 102 コウペスナップ
- 104 Kitano Hot News 「グーニー北野」
- 107 法人ニュース
- 110 神戸うまいもん&ドリンクNEWS 「Cafe dé 佛蘭西」
- 111 神戸百店会だより 「末積製額」
- 124 表紙のことば
- 125 Present
- 126 編集後記
- 127 定期購読のご案内
- 128 Last Photograph⑥／中山岩太

写真／フォトスタジオPROX（久保実 久保佳正 来間孝司）

特集

KOBEで感じる ブライダル



神戸は、山と海に囲まれた
おしゃれな街。

そのロケーションは、
永遠の愛を誓う
ウエディングにふさわしい。

「KOBEスタイルのウエディング」を
N' KOBECCOから発信します。

- ★ポエム・ド・コウベ/福井久子
- ★対談/山口 光 vs 玉岡かおる
- ★神戸ウエディングフォーラム
- ★神戸ウエディング会議
- ★プランナーが語る
「KOBE スタイル ウエディング」

- ホテルオークラ神戸
- 神戸ポートピアホテル
- 神戸メリケンパークオリエンタルホテル
- シーサイドホテル舞子ビラ神戸
- KITANO CLUB sola
- 神戸北野ハンター迎賓館
- ウェスティンホテル淡路
- 北野ガーデン
- ウエディング サロン イノウエ
- 美容室エリザベス

衣裳撮影協力／ウエディング サロン イノウエ、
ヘア&メイク(住本りつ子 (Stylish Wedding))
モデル／田辺実穂、カメラ／フォトスタジオPROX

ポエム・ド・コウベ

浮遊空間 「ソラ」

福井久子

ここは

自然との一体化を試みる館
外部と内部を仕切るのは柱と板ガラスのみ
微妙な緊張感と開放感が混在する屋内

天井から降る自然光の下を

小川が流れ、架かる

石橋を渡る意志を確かめてくる—

その先に待つて いる

鋭角に削りとられた直方形のまるで洞窟
粗い碎石で取り囲まれた堂内はほの暗く
原始とモダンが結合した聖なる空間

祭壇の背面を天井まで占める

ステンドグラスならぬ透明なガラス片

一切の彩色を廃して

天空の光は射し込む

と

花婿と花嫁の情熱は白い炎となつて立ち登り
人々は二人を囲んで浮遊する



上/「KITANO CLUB sola」から神戸の街を眺む
下/天空(そら)の教会

結婚はゴールではなく 新たな生活のスタート



山口光
(ディアコニア
大阪教会主管牧師)

結婚のスタイルは人それぞれ。結婚に対するスタンスも、時代とともに大きく変わっている。結婚の意味は?そしてその本質は?

ホテルオークラ神戸のチャペルで数々の誓いに立ち会ってきたディアコニア大阪教会主管牧師の山口光さんと、山口さんの父の教え子でもある作家の玉岡かおるさんに、ご自身の経験を踏まえながらお話をいただいた。



結婚と結婚生活 様々な価値観



山口牧師がブライダル目式者をつとめる
ホテルオークラ神戸で挙式するカップル

山口 結婚式の思い出といえば、山口さんのお父様でもある大学時代の先生（元神戸女学院大学学長・故山口光湖氏）にスピーチしていくたどことですね。ゼミの同期では私がいちばん遅かったのですが、それでも25歳の終わりでした。いまでは決して遅いほうではないですよ。いまの子は大学を卒業してまず就職を考えるでしょうけど、私の時代はまず結婚でしたね。女性の自立などを扱っていたゼミの出身者の私はさえ、そうだったのですから（笑）。

山口 僕は5年前に結婚して、いまはハワイに住んでいるのですよ。向こうには大きな娘がいて、結婚して子供を産んだのでもう孫がいます（笑）。妻はノルウェー系の白人なのです、

玉岡 結婚式の思い出といえば、山口さんのお父様でもある大学時代の先生（元神戸女学院大学学長・故山口光湖氏）にスピーチしていくたどことですね。ゼミの同期では私がいちばん遅かったのですが、それでも25歳の終わりでした。いまでは決して遅いほうではないですよ。いまの子は大学を卒業してまず就職を考えるでしょうけど、私の時代はまず結婚でしたね。女性の自立などを扱っていたゼミの出身者の私はさえ、そうだったのですから（笑）。

山口 日本と違って結婚生活は楽ですね。娘婿とはよくボクシングや相撲をやってますよ（笑）。娘婿と舅が相撲をするなんて、日本ではあまり考えられないですね。

玉岡 私の結婚式は生田神社だったのですが、山口さんはもちろん教会で挙げられたのですよね？普段とは逆の立場ですが、気分はどうでしたか？

山口 緊張しましたね。お嬢さんの気持ちがよくわかりました。式はハワイの教会で行つたのですが、私は何かとハワイに縁があるのですよ。私が通つていた保育園に、いま孫娘が通つていますから。私の前世はきっとカメハメハ王朝だと思いますよ（笑）。ハワイは人種差別がないのが良いですね。いまはパールハーバーの近くに住んでいるのですが、最近は航空券も安いので、隔月で日本とハワイを行き来していますよ。

玉岡 ハワイフリーカーの友人が聞けば羨ましがります。ハワイ

バイキングの末裔だから強いのです。家事からプール掃除まで全て僕がやっていますからね（笑）。彼女はハワイで中学校の先生をしています。ハワイでは太つていればいるほど美しいとされるのですが、僕が110kg、妻が100kgですから、まさに美男美女のカップルですね（笑）。

玉岡 奥様は、自立されていて、結婚もして、素晴らしい女性ですね。

玉岡 ハワイでは太つていればいるほど美しいとされるのですが、僕が110kg、妻が100kgですから、まさに美男美女のカップルですね（笑）。彼女はハワイで中学校の先生をしています。ハワイでは太つていればいるほど美しいとされるのですが、僕が110kg、妻が100kgですから、まさに美男美女のカップルですね（笑）。

玉岡 奥様は、自立されていて、結婚もして、素晴らしい女性ですね。



は本当に良いところですよね。いまの新婚旅行の主流はハワイですか？

山口 もちろんハワイも人気ですが、いまはオーストラリアに行くカップルが多いようですね。ゴールドコーストなどはかなりの人気があるみたいで。

玉岡 ちょうどいま娘がオーストラリアに行っているところなのですよ。やはりハワイやオーストラリアは、日本人に優しい気がします。

山口 南方系は大らかで良いですね。僕は暑いところが大好きなのです。海外で暮らしてみてわかつたのですが、日本でいちばんいい季節は夏ですよ。海外の友人とも「日本の夏は捨てがない」とよく言っています。湿気が多くて過ごしづらいと言われますが、このじめじめと

した感じが良いのです（笑）。

おはよう、ありがとう、ごめんなさいを忘れずに

玉岡 いまは結婚がゴールになつている氣がするのです。私は結婚して23年ですが、いま改めて23年を振り返ると、結婚とは生活であり、

そのスタートだったと思うのです。

山口 日本の大学受験と同じですよ。入学はゴー
ルではなくスタートですから。僕が式の説教でよく使う言葉があります。「ふたりはこれから港を旅立つ。しかし順風満帆にはいかない。その時はいつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい」、そしてもうひとつ、「おはよう、ありが

玉岡かおる(作家)

三木市生まれ。神戸文学賞受賞作の『夢食い魚のブルー・グッドバイ』で新潮社より作家デビュー。著書に、「をんな紋」三部作(角川書店)、「天涯の船」(新潮社)など。執筆活動の傍ら、テレビなどのコメンテーターや行政の各種審議会委員などとしても活躍中。2000年加古川市特別文化賞受賞。加古川市在住。

とう、ごめんなさいを忘れずに、寝る前にお互いの健康を喜びなさい」と必ず言っています。これが幸せなのです。日本人の夫婦はまず「アイ・ラブ・ユー」を言わなくなります。そして「ありがとう」「ごめんなさい」も言わなくなる。

玉岡 「ここから亀裂が入つてくるのです。

玉岡 女性は「きれいだ」とか、もっとと言つてほしいものですよ。減るものではないし、男性はもっと女性を誉めて良いと思うのですよ(笑)。でも自分の娘の結婚を考えると、まだ怖いですね。下の娘などは一生結婚はしないなどと言つていますよ。いまの女の子は成熟が進んで、結婚に対する妥協点がなかなか見つからないのでしょうね。

山口 もともと聖書では、結婚は政略結婚だつ

たのですよ。ですから顔を隠すためのベールをかぶることにも歴史があるのです。このルーツは全ての宗教につながっています。だから宗教文化が違つても、結婚式は似ているのです。

玉岡 私もたかが23年続いているだけですが、

結婚は素晴らしいものだと思つています。苦しいこともたくさんありました。自分を成長させてくれたと思います。私のときは母が、「だまされたと思って結婚してみなさい」と言つていたのですが、本当に一度は結婚するべきだと思います(笑)。

山口 「カジノ」という映画があるのですが、そのなかでロバート・デ・ニーロが、シャロン・ストーンにプロポーズをするシーンがあるので、

す。宝石や毛皮などの豪華なプレゼントのあと、
山口光(ディアコニア教会主管牧師)
1956年神戸市生まれ。聖ミカエル国際学校、関西学院大学社会学部、聖公会神学院、国際聖書学院にて学ぶ。現職のほか、ホテルオークラ神戸のブライダル目式者、社会福祉施設オリエンピアのチャプレンも務める。妹尾医院リハビリ科マッサージ師、ピアニスト、ゴスペルシンガー、大阪クリスチヤンセンター理事など多方面で活躍。家族はハワイに妻と一女、孫一人。



思い立ったその時が 結婚のしごろ

デニーロが「こんなものは大したものじゃない。大切なのは、お互いの命と命を預けあうことだ」と言つたのです。この台詞には、改めて教えられたような気がしましたね。

山口 大阪に比べると神戸の結婚式場では、賛美歌を唄える人が圧倒的に多いのですよ。これはいろいろなミッショングループがあるからです。若い頃から賛美歌に慣れ親しんでいる人が多いのですよ。

玉岡 新しく開かれた港に、まず入るのは宣教師ですからね。神戸は新しい文化が生まれるまちであり、どんな宗教も受け入れる土台がありますよね。そういう意味では「結婚の聖地」だと言えると思います。

山口 昨年、兵庫県では約3万組が結婚しました。そのうち式を挙げたのは約50パーセントです。しかし入籍後の式も可能ですし、なにもおかしくありません。思い立ったとき、したいと思ったときが結婚のしごろなのです。

ウエディングのまち神戸に向けて キックオフ!

神戸ウエディングフォーラム開催



- ①基調講演を行うファッショントレーナー桂由美さん。
- ②パネルディスカッションのコーディネーターの仲谷さん
- ③④6名のパネラーにより、ウエディング業界の将来について話し合われた

「神戸をウエディングの街に」を合言葉に、ウエディング業界関係者でつくる神戸ウエディング会議。8月17日には、「神戸ウエディングフォーラム」が、神戸国際会議場で開催された。(株)アシックス会長・鬼塚喜八郎さんによる開会宣言に続き、矢田立郎・神戸市長もメッセージを贈った。

基調講演では、ファッショントレーナーの桂由美さんが、「神戸スタイルのウエディング」の提案とありますが、欧米では、司式者を市長や町長が務めるシビルウエディングが日常化しています。神戸も他の都市に先駆けて実施してみては」と話した。

続いて、大阪学院大学教授・

仲谷秀一さんがコーディネーターとなり、パネルディスカッションが開かれた。パネラーは、(株)神戸ポートピアホテル代表取締役社長の中内仁さん、(株)イティーピー西日本営業本部広報担当課長・高崎邦子さん、関西ゼクシィ編集長・河本晃さん。

中でも注目を集めたのは、2007年以降に少子化に拍車がかかることで、挙式件数が確実に減っていくことへの対応について。中内さんは「二極化が進む中で、婚礼の内容を充実させることと、効率的に告知活動を行うことの重要性を実感した」。浅木さんは「少子化を国内だけで考えるのではなく、中国市場へのアプローチも視野に入りたい」。

また、ゲストには(財)沖縄観光コンベンションビューロー調査役・屋良朝治さんと、神戸大学大学院生・前中泉さんが招かれた。屋良さんは、この5年で、沖縄リゾートウエディングが200組から3500組に飛躍的に伸びたことや、スキユーバーダイビングなどのアフターウェディングの重要性について触れた。「神戸空港ができるれば、神戸から多くの人が挙式を挙げてもらえる」と本音もちらり。河本さんは「神戸空港ができるれば、神戸の観光資源を全国にアピールできる」と期待感を語った。

最後は、神戸国際観光コンベンション協会常務理事・中野潤さんが、「業界が一体となつて、神戸ウエディング会議が原点となり、今後の課題に取り組んでいきましょう」と参加者に賛同を求めた。

割れんばかりの拍手の中、第一回目のフォーラムは幕を閉じた。

神戸市がファッショング都市宣言を行ってから30年が過ぎた。ファッショングは、アパレル、グルメ、洋菓子、真珠などの生活にかかわる様々な業種が含まれ、いまや神戸を代表する産業にまで成長した。

神戸をウエディングの街に

神戸の新しい未来を切り開くキーワードとして期待されるウエディング。

このほど、神戸のウエディング業関係者が集い、神戸ウエディング会議が設立された。



現在、神戸市では、産官学、そして市民が一体となって「観光交流都市」を目指しており、観光への集客効果にも期待が高まっている。そして、会議が立ち上がりながらもひとつの理由として、神戸市内でウエディング会場がさらに増えていることが挙げられる。今年に入り、婚礼会場の新設や既存施設の増設が相次いだ。同じ職種間で、バイを取り合うよりも、神戸のウエディング業界がまとまって、バイ自体を大きくしていくとする狙いがある。

全国から神戸へウエディングを誘致していくという意味では、来年、神戸空港が開港することで、他都市との連携や利便性が高まり、全国各地から神戸へ訪れるやすくなることも期待できる。軽井沢、北海道、沖縄での国内でのリゾート挙式が高まっている中で、都市にいながら、山や海のリゾート感覚を味わえる点も、神戸ウエディングのセールスポイントとなつているようだ。

神戸市がファッショング都市宣言を行ってから30年が過ぎた。ファッショングは、アパレル、グルメ、洋菓子、真珠などの生活にかかわる様々な業種が含まれ、いまや神戸を代表する産業にまで成長した。

ファッショング産業に続き、新しい神戸のキーワードとして、期待されているのがウエディング産業。「ウエディングのまち神戸」を全国に向けてPRを行い、神戸の新しい産業に育てていくことを目的に、この度「神戸ウエディング会議」が立ち上がった。現在のメンバーは、ホテルやハウスウェディングの関係者、プロデュース業者、衣装店経営者、食品関係者、行政関係者などで、ウエディング業界の第一線で活躍する人材が中心となつていている。

ウエディングにかかる産業は数多く含まれている。引き出物、宿泊、料理、花、美容、衣装、写真など数え上げればきりがないばかりではなく、数多くの経済波及効果が予測できる。



会議では、業界をどの

ようにしてまとめていくか、
神戸ウエディングをどのように
PRしていくかなど、
さまざまな議論が繰り返
されている。

「神戸はウエディングが
似合うといわれているが、
神戸ウエディングのイメー
ジは何なのか」「神戸で式
を挙げてもらうためには、
シンボルとなるモニュメン
トをつくってみてはどうか」
「この機会に神戸スタイル
ウエディングというものを
確立させてみては」などさ
まざま。

去る8月17日には、神
戸国際会議場で、神戸ウ
エディングフォーラムが開
催され、業界に対する呼び
かけと共に、専門家を交
えた意見交換が行われた。
今回のフォーラムは、業界
関係者をさらにとりこん
でいくことで、組織の裾野
を広げていくことに重点
を置いていた。当初、参加
者も250名を見込んで
いたのに対し、当日約4
00名の参加があったこと
からも、ウエディング関係

者の関心の高さが伺い知
れる。

2007年以降には、少
子化に拍車がかかり、結婚
式の数も減っていくことが
確実視されている。ウエデ
ィング産業の将来を左右
する少子化に対する不安
も、参加者の関心を誘う
形となつたようだ。

ウエディング会議 자체
も大きな第1歩を踏み出
した。今後も、神戸ウエデ
ィング会議では、定期的な
会合を開催し、業界への呼
びかけと共に、実際に結婚
を考えているターゲット層
へのアプローチを検討して
いく。

■お問い合わせ
神戸ウエディングフォーラム事務
局 TEL 650-0044
神戸市中央区東川崎町1-8-4
日本ソフトスチアンド(株)内
FAX 078-367-4448
e-mail:info@iti.co.jp

8月5日、神戸市産業振興センターで開かれた、神戸ウエディング会議にて



プランナーが語るKOBEスタイルウエディング ①

ホテルオークラ神戸

港町、神戸の素晴らしい眺望、季節ごとのセンスある演出、こだわりのある大人のウエディングを



ホテルオークラ 神戸
ブライダルコーディネーター

細谷 夕美子さん

トもきっと喜んでくれるだろうな」と見学に来られて即決されるカップルもいらっしゃいます。私どももそんな絶好的のロケーションを生がすよう、潮風に吹かれながらのフロア一シャワー、青空に向かって解き放つバルーンリース、夜景をバックにしてのナイトウエディングなど、さまざまご提案をさせていただいています」とブライダルコーディネーターの細谷夕美子さん。

メリケンパークの中央に、ボートタワーと肩を並べるようそびえる「ホテルオークラ神戸」。開業以来、常に最上級のもてなしとサービスを提供し、神戸らしい格調高いウエディングが実現できるとの定評をもつ。「神戸ならではのリゾート感を存分に堪能していただきたいと考えています。たとえば海・山側ともに絶景の34階の宴会場や、屋外ステージとして3階チャペルに隣接するルーフガーデンを設けてあるんですね。海洋博物館やポートタワーなど、港町、神戸らしい風景がまさに目の前。ここなら神戸で式をあげる価値があるわね。」
『ゲス

やツツジなど、季節感いっぱいの景色のなかでガーデン挙式も可能。

「最近は12月限定のクリスマスウエディングに入気が集まっているんですよ。チャペルやバンケットルームの装花はホワイトを基調に、緑と赤をボイントにしたクリスマスマティストのコーディネートをはじめ、チャペル式の聖歌隊を「ゴスペルにはさらにウエディングケーキにはブッシュ・ド・ノエルを用意。ホワイトソリーに囲まれた結婚式って、本当にロマンチックなんですよ!」

またホテルオークラ神戸といえば、忘れてはならないのが婚礼料理。世界のVIPをもてなす味と心を込めたサーキュレーションに、参列した誰もが声をそろえて絶賛。柔軟なアイデアから生まれてくるレシピは伝統的な和食に、洋の要素を取り入れたり、フレンチでは必ず神戸ビーフや瀬戸内の漁介など地元の新鮮な食材を使用している。オードブルからデザートまで数種ずつラインナップしたメニューの中から、好きな料理を選んでコース立てにできる「プリフィックススタイル」も好評だとか。

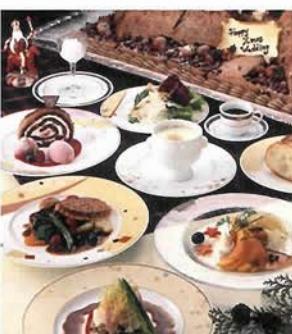
神戸らしい異国情緒にあふれるシチュエーションに囲まれた、ドラマティックなロケーション、ステータスホテルならではの多彩で充実したファシリテ

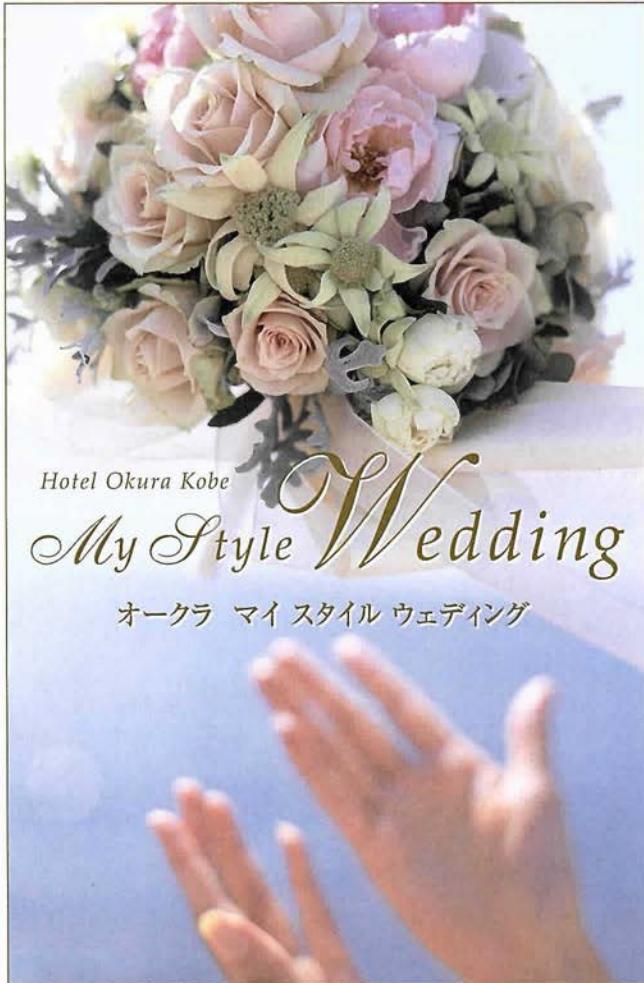
やツツジなど、季節感いっぱいの景色のなかでガーデン挙式も可能。

「最近は12月限定のクリスマスウエディングに入気が集まっているんですよ。チャペルやバンケットルームの装花はホワイトを基調に、緑と赤をボイントにしたクリスマスマティストのコーディネートをはじめ、チャペル式の聖歌隊を「ゴスペルにはさらにウエディングケーキにはブッシュ・ド・ノエルを用意。ホワイトソリーに囲まれた結婚式って、本当にロマンチックなんですよ!」

イにて、世界に誇るホスピタリティ...。こだわりのある大人のウエディングを実現できる要素がここには完璧に用意されている。

ホテルオークラ神戸
神戸市中央区波止場町2-1
<http://www.kobe.hotelkura.co.jp>





Hotel Okura Kobe
My Style Wedding

オークラ マイ スタイル ウエディング

■お問い合わせは ご婚礼予約係 TEL (078) 333-3533



Hotel
Okura
KOBE



おふたりの夢や憧れをカタチに——。

オリジナルプラン“マイスタイル”は、
オークラ自慢のお料理に、フラワーコーディネートや
ドレス・メイク&ブーケを、オーダーメイド感覚で
自由に組み合わせてお創りいただけるプランです。
“マイスタイル”なら、おふたりにぴったりの
ウェディングスタイルがきっと見つかります。

ホテルオークラ 神戸
<http://www.kobe.hotelokura.co.jp>